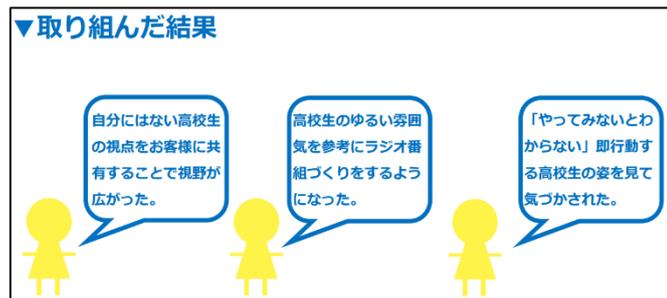


## 若者の社会参画を考える

今年度の10月に実施しました『第4回基礎研修会』では、「次世代を担う若者の社会教育への取組を学ぶ」をテーマに実施しました。第3回基礎研修会の受講者アンケートから、若者の社会参加についてのヒントを欲している様子がうかがえました。その点で、この第4回は受講者にとって大いに参考になったのではないかと思います。

◆午前は… 講師は燕市役所 地域振興課 係長 伊藤 正嗣 様、主事 坂内 未央 様のお二方をお迎えし、『『まちあそび』から発見と学びを得る高校生とまちの人たち』と題して燕市の取組について御講義していただきました。

2013年にスタートした燕市のまちづくり事業「つばめ若者会議」のスタート時から現在に至る「燕市役所まちあそび部」までの取組の様子をとおして、「高校生のやってみよう」を「まちのリソース」にしなが、「まちづくりに関わるきっかけづくり」「愛着心を育む場づくり」として人材の育成に努めていることをお話しいただきました。その中で受講者の方々が特に関心が高かったのは、「若者をサポートする3つのポイント」などでした。



※研修会資料より抜粋

★若者をサポートする3つのポイント★ ①課題を提示しない ②意見やアイデアを否定しない ③結果や成果を意識させない

◆午後は… 講師はNPO 法人とちぎユースサポーターズネットワーク代表理事 岩井 俊宗 様より、「若者の力を活かして地域の課題解決/活性化を加速する-地域づくりコーディネーターの役割-」と題してご自身の取組について御講義していただくとともに、若者（大学生）の傾向と影響要因や若者の社会活動を促進する役割、また若者と地域が共生していくために必要なことなど、若者の社会参画へ向けてのヒントをいただきました。

グループワークでは、「(コーディネーターのスキルを分解する)地域の課題と担い手を結び付け、新たな活動・事業を生み出し支えるコーディネーターにはどんな力、また視点・価値観が必要か。」をテーマに話し合わせ、互いに意見交換がなされていました。また各々の事業や日頃の業務等についても活発に話し合われているグループもみられました。

◆感想で振り返る… 受講者の感想から第4回の研修を振り返ってみます。

- ・ 若者の自主性と主体性を重視し、それをカタチにしていること、そのために「自主性と主体性を重視することを徹底している」、行政職員がいることがすごいです。高校生の目線、意識を大事にしていること、そのために高校にも足を運んでいることなどが、当市の若者支援、中高生を巻き込むまちづくりの参考になりました。
- ・ グループワークで情報交換ができて有意義でした。参加者の皆様からも刺激をいただきました。
- ・ 講師の講話を通して、地域活動に若者を引き込むためには、既存の価値観にとらわれず、若者目線で事業に臨む必要があると感じた。
- ・ 若者を巻き込むには成果を求めないという発想はなかったのでとても参考になった。
- ・ ゴールを決めず、過程の学びに光を当てて、成果を実感させる燕市の発表は、目から鱗であった。などの感想から、とても満足のいく研修になったのではないのでしょうか。

